

マイスター
が考える

天野 敦雄 先生
尾野 誠 先生
山中 隆平 先生
成瀬 千絵美 歯科衛生士

新時代の 歯科医療



3月20日は
世界口腔
保健デー

世界各国で口腔衛生の重要性を
啓発し、口腔疾患の減少を
目的としています。

ライブ
配信

2025 / 3 / 20 祝
9:00 - 13:30 Thu

見逃し
配信予定



セミナー参加者スペシャル特典!

特別オンラインセミナー第一回の
天野教授の動画を特別配信!

配信期間 2025年3月13日(木)▶3月19日(水)

天野 敦雄 先生
大阪大学名誉教授/特任教授



お申込み ヨシダのホームページよりお申込みください。

ヨシダ



<https://www.yoshida-dental.co.jp>

スマホからはQRで簡単アクセス▶



お申込みから受講までの流れ



ヨシダホームページより
お申込み
※G-PLUSへの会員登録が必要です。



ご登録のアドレスへ
申込み完了メールが
届きます



開催日時になったら
PCや携帯からセミナー
視聴ページへアクセス

〈受講料〉※

歯科医師: 7,700円(税込)
(内訳: 受講料7000円(税別) + 消費税700円 10%対象)

歯科衛生士/歯科技工士学生: 3,300円(税込)
(内訳: 受講料3000円(税別) + 消費税300円 10%対象)

※サンプル代込 セミナー終了後、
ヨシダG-PLUS会員プロフィール
にご登録された
ご住所へお届けいたします。

株式会社 **ヨシダ**

器材部(平山)

TEL.03-3845-2931 (平日 10:00-17:30)

第5回 HaBon 特別オンラインセミナー

新時代の歯科医療

講師は、あいうえお順になります。



予防歯科 プロフェッショナルへの道

天野 敦雄 先生

大阪大学名誉教授/特任教授

健口を取り戻し、そして守る。これが令和の歯科医療人の使命である。そのために知らなければならないことは、バイオフィームの本質である。う蝕と歯周病の主要因は「バイオフィームの攻撃力vs歯周組織の守備力」の均衡崩壊なのだ。バイオフィーム管理を実践できる予防歯科プロフェッショナルに必要な6つの知識をお話させて頂きたい。

- ① バイオフィームの管理で一番大事な事 : バイオフィームのバイオロジー
- ② 歯周病とインプラントの正しいメンテナンス : どちらも炎症予防
- ③ 歯間部歯肉の健康はとてつもなく重要 : 歯周病は歯間部からやって来る
- ④ 口腔フローラと腸内フローラの関係 : 歯周病菌は大便にいる
- ⑤ 根面う蝕対策にはフッ化物 : フッ化物で根面う蝕を止める
- ⑥ インプラントにフッ化物はNGか? : フッ化物含有歯磨剤を使う



術前から考える歯周外科手術における軟組織のマネジメント

尾野 誠 先生

四条烏丸歯科クリニック勤務

歯周外科手術を行う際、術者は細心の注意を払って軟組織を取り扱わなければならない。目指す結果が得られるよう、フラップデザインをはじめ、切開から縫合まで、術中の一連の工程には繊細さが要求される。しかし、いくら歯科医師が術中に完璧なパフォーマンスをしたとしても、歯周基本治療が不十分な症例では、術後に好ましくない結果を招きやすい。特に血管の乏しい歯間部の軟組織を切開・縫合する機会が多い歯周再生療法において、術前の歯間部歯肉の炎症は致命的である。また、手術により良い結果が得られたとしても、術後の再発予防には歯科衛生士が重要な役割を担っている。本講演では、歯周外科を予定している患者に対して、歯科医師と歯科衛生士が共通認識を持って治療に臨めるよう、術前・術中・術後を通して軟組織にどのような注意を払い、何を使い、どういった指標で評価しているのかといった内容を解説したい。

インプラント長期安定における歯科医師・歯科衛生士の役割



山中 隆平 先生

医療法人社団 ルークズスマイル
山中デンタルクリニック理事長



成瀬 千絵美 歯科衛生士

医療法人社団 ルークズスマイル
山中デンタルクリニック勤務

インプラント治療における基本的な知識やインプラントの長期安定につながる5つの要素を、今回臨床症例を閲覧していただき紐解きをしていきたいと思っております。

インプラント治療に限らず歯科治療全般において治療終了後のメンテナンスも不可欠で、そのためには歯科医師・歯科衛生士は互いの役割を果たしつつ同じ方向性を持っている必要性を日々実感します。歯科医師・歯科衛生士それぞれの目線から、インプラント長期安定をはかるチーム医療を山中デンタルクリニック内でどのように行なっているかを解説していきます。

ライブ配信

2025

3/20 祝 Thu

9:00 - 13:30

(見逃し配信予定)



3月20日は
世界口腔
保健デー

世界各国で口腔衛生の重要性を啓発し、口腔疾患の減少を目的としています。



セミナー参加者スペシャル特典!

特別オンラインセミナー第一回の
天野教授の動画を特別配信!

配信期間 2025年3月13日(木)▶3月19日(水)

歯周病予防・治療の一丁目一番地は
バイオフィームの病原性抑制

歯周病の主要因は「バイオフィームの攻撃力 vs 歯周組織の守備力」の均衡崩壊です。このメカニズムを知りバイオフィームの病原性を抑制できれば、歯周状態は改善します。これが歯周病の予防・治療法です。また、歯周病と全身疾患の関係が明らかになってきた今、糖尿病、高血圧、脂質異常症などの患者が歯周病治療を求め、医科から紹介されて来るようになります。医科の期待に応えることが、歯科が果たすべき責任となってくるでしょう。病原性抑制のプロケアとセルフケアのポイント、そして歯周病予防成分のトピックもお話させて頂きます。